

# 【掲載記事】180815高齢者住宅新聞 「地域共生社会の実現に向けて」(社長連載 最終回)

(5) 2018.8.15 (毎週水曜日発行)

高齢者住宅新聞

サ高住の「ゆいまゝる」シリーズは10年前、神戸の伊川谷からスタートしました。昨秋、オープンした分散型サ高住の「ゆいまゝる大曽根」が10棟



目となります。そして今、私は70歳を目前に控え、新たな一歩を踏み出しました。コミュニティネットは新しい経営陣に託し、これから日本が直面するであろう未曾有の困難を解決するために身を賭すことを決めました。

最終回 地域共生社会の実現に向けて

## 高齢・障がい・子供への支援に焦点を

えあう地域コミュニティの創出です。退任前の5月の取締役会で私は役員にこう話しました。

「10のゆいまゝるは、すべて違います。社員がその地に住み込み、地域のニーズを受け、抱える課題を解決するモデルをつくってきたからです。研究開発はすべて成功しました。今後はこの成果を生かし、大都市圏のやや富裕層向けにパターン化・システム化を進め、利益を上げていってください。私は、所得の低い層や生活困窮者と呼ばれる人たちが共に生きられる仕組みの構築や地方創生の成功に向けた商品開発を進めます」

経営の安定は第一ですが、それだけを求めていても企業は発展しません。ゆいまゝるシリーズが稼働率95%という高い水準を維持し続けているのは、徹底したマーケティングと研究開発を続けたこと、そして企業理念に賛同して入居された方が多いからです。

関連法人であるコミュニティネットワーク協会は、元気が出るコミュニティづくり、地域プロデューサーの育成、相談業務などを担ってきました。この理念と志に賛同した市民の皆さんが資金を提供してくれました。鳥取県にある社会福祉法人トマトの会と連携して、「福

元 (株)コミュニティネット 高橋英與

(たかはし・ひでよ)

1948年岩手県花巻市生まれ。コーポラティブハウスや有料老人ホームづくりを経て、2006年コミュニティネット代表取締役就任。自立型高齢者住宅を中心とした団地・過疎地再生事業に携わり、現在は地方創生の最前線に立つ。主な著書に『コミュニティ革命「地域プロデューサー」が日本を変える』(彩流社)。



福連携」(福祉を受ける者が、サービス提供の担い手となり支えあう仕組みを創出する)の仕組みづくりも進んでいます。3年にわたる連載は今回が最終回です。未来を創る挑戦を一緒に進めましょう。

連絡先 hide0221@gmail.com

「介護ビジネスの未来を創る」

# 週刊 高齢者住宅新聞

Elderly Press Newspaper

2018年(平成30年)

8月15日

第505号 (毎週水曜日発行)

(株)高齢者住宅新聞社

〒104-0061

東京都中央区銀座8-12-15

☎03-3543-6852(編集部)

発行人 西岡一紀

年間購読料 22,680円(送料込・税込)

ホームページ

<http://koureisha-jutaku.com>